

会議録

会議の名称	令和5年度第3回西東京市子ども子育て審議会
開催日時	令和5年10月19日（木曜日）午前9時30分から11時30分まで
開催場所	住吉会館2階研修室
出席者	<p>委員：森田会長、菅野副会長、井上委員、小野委員、鹿毛委員、加藤委員、酒見委員、島崎委員、辻委員、中村委員、平野委員</p> <p>事務局：遠藤子育て支援部長、岡田子育て支援課長、齋藤幼児教育・保育課長、中村幼児教育・保育課主幹、笹本幼児教育・保育課主幹、河野児童青少年課長、宮崎子ども家庭支援センター長、野口健康課保健係長、栗林子育て支援課長補佐兼調整係長、倉本子育て支援課副主幹兼子ども相談係長、阪本幼児教育・保育課事業調整係長、石塚幼児教育・保育課相談受付係長、本谷子育て支援課調整係主査、浅野幼児教育・保育課事業調整係主任、須藤子育て支援課調整係主事、荒井幼児教育・保育課事業調整係主事</p>
議題	<p>(1) 次期西東京市子育て・子育てワイワイプランの策定について ヒアリング調査について</p> <p>(2) 西東京市子育て・子育てワイワイプラン 令和4年度実績について</p> <p>① 子育て・子育てワイワイプラン基本方針に基づく施策・事業の実績</p> <p>② 【子ども・子育て支援事業計画】教育・保育の量・質の実績</p> <p>③ 【子ども・子育て支援事業計画】地域子ども・子育て支援事業の実績</p> <p>(3) 保育料・育成料の見直しについて</p>
会議資料の名称	<p>資料1 次期子育て・子育てワイワイプラン策定スケジュール</p> <p>資料2 ヒアリング調査対象一覧</p> <p>資料3 ヒアリングシート（案） 保護者・利用者対象</p> <p>資料4 ヒアリングシート（案） 支援者対象</p> <p>資料5 子育て・子育てワイワイプラン基本方針に基づく施策・事業の実績</p> <p>資料6 【子ども・子育て支援事業計画】教育・保育の量・質の実績</p> <p>資料7 【子ども・子育て支援事業計画】地域子ども・子育て支援事業 令和4年度実績・令和5年度見込み</p> <p>資料8 利用者負担額・育成料の見直しについて</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>1 審議</p> <p>(1) 次期西東京市子育て・子育てワイワイプランの策定について</p> <p>○森田会長：</p> <p>第2回子ども子育て審議会の資料にあった出産・子育て意識調査について、事務局と協議し、取り下げることにした。令和6年度に子ども・若者計画策定のための調査が予定されており、対象者に同じ年代の方も含まれることから、当該調査に考え方を入れて</p>	

いければと思う。ライフプランにおける妊娠、出産、子育てに関する意見をどのように聞き、どのように反映するかを認識し、調査内容を検討していきたい。

○各委員：
異議なし

事務局から資料1に沿って説明

○森田会長：
今後多少の変更はあると思うがこの案でよいか。

○各委員：
異議なし

○森田会長：
来年度に予定されている子ども若者調査は回収率が伸び悩む傾向にある。調査票を開いてもらえるような封筒や、自身の気持ちを届けたいと思うような依頼文や内容の工夫も必要である。当事者の声を丁寧に聞くことが、子どもの声の聴取にもつながる良い循環が生まれると思うので、今後議論していきたい。

ヒアリング調査について

○小野委員：
9月と10月に開催した計画専門部会の審議内容2点を報告する。
1点目は、審議会から指示のあった子育て支援ニーズ調査と子どもの生活実態調査の再検討である。

調査対象者へ調査の意義を伝える工夫や、子どもの負担軽減や精神面の配慮について議論し、調査の説明文の修正や、設問の削減、質問や選択肢の表現を見直した。また、修正した調査票については、森田会長に確認いただいた。

2点目は、ヒアリング調査についてである。

子どもや子育て家庭を取り巻く状況について直接話を聞いて把握した方が良いと考える対象者と、ヒアリング項目を議論した。一部は、アンケート形式で実施するものもある。詳細は事務局から説明する。

事務局から資料2・3に沿って説明

○森田会長：
ヒアリングで1か所当たりの調査時間と訪問人数や聞く体制を確認したい。

○事務局：
対象者の都合もあるので、調査時間は15～20分程度、インタビュー形式で1対1でのヒアリングを予定している。
保護者の会についてはアンケートにするかを検討いただきたい。

- 森田会長：
計画専門部会員の方々も可能な限りヒアリングに同行してほしい。
- 平野委員：
都合がつけば参加したい。
- 井上委員：
参加できるものがあれば参加したい。
- 森田会長：
学童クラブの利用者に対するアンケートをすること可能か。
- 井上委員：
学童クラブ連絡協議会自体はあるが、保育園連絡共有会ほど機能していない。アンケート調査をするなら協力を求めることはできるのではないか。
- 森田会長：
アンケートの中に入れてもらえるとありがたい。全体の意見を何らかの形で出してもらうことは可能か。
- 井上委員：
アンケート形式であれば可能だと思う。保育園連絡共有会とは体制が異なるので、どのような形で実施できるか。
- 酒見委員：
学童クラブに関しても対象にした方がよいと思う。
- 森田会長：
何らかの形で入れるということによいか。
- 小野委員：
対象者に加えることは良いが、計画専門部会では、ニーズ調査に入っているので、ヒアリング調査に追加するという議論は特になかった。
子育て支援ニーズ調査に学童クラブに関する質問が入っているので、把握できるのではないか。
入れるなら保護者に向けてなのか、または支援者に向けてなのかを併せて話をしたい。
- 森田会長：
子育て支援ニーズ調査自体は、小学5年生の保護者向けか。その実態の中で感じていることや支援の内容等を具体的な子どもたちとの関わり方等含めて審議いただきたい。
- 事務局：

子育て支援ニーズ調査自体は、小学生の保護者対象である。学童クラブ利用保護者にも調査できればと考える。

○中村委員：

学童クラブの子どもの声を聞くことが大事である。学童クラブを利用している子どもにもヒアリングした方が良いのではないかと。

○小野委員：

子どもへのヒアリングは検討していない。前回調査を踏襲して、保護者と支援者へのヒアリングを想定している。

○中村委員：

子どもの声は実際聞いてみないと分からない。親が想定している息苦しさや違う。実際に通っている子がいる時間に行くことは良いのではないかと。

○森田会長：

令和6年度に子ども・若者調査を行うため、その際に学童クラブの子どもも含む様々なところにいる子どもの声をヒアリングするという事も考えられる。

○平野委員：

学童クラブの指導員へのアンケートやヒアリングは実施しているのか。

○森田会長：

指導員は、支援者ではなく職員に対する調査となり質が変わってくる。

○平野委員：

学童クラブはシルバー人材センターの方は入っていないのか。

○事務局：

入っていない。公設公営が27施設、委託が9施設ある。公設公営施設は、指導員と補助員共に市の会計年度任用職員である。

○森田会長：

保護者の意見はアンケートである程度キャッチできているため、学童クラブの子ども自身の話、支援者の話は、最終的に計画専門部会で深めてほしい。

○小野委員：

改めて機会を設ける。

○森田会長：

それでは、学童クラブについては対応を願う。

事務局から資料2・資料4に沿って説明

○森田会長：

計画専門部会で議論した内容で、この場で検討したいことはあるか。

○小野委員：

計画専門部会では、ヤングケアラーや発達の違いについて把握する項目や子ども食堂について議論した。審議会で議論いただきたいことは特にはない。

○森田会長：

子育て支援ニーズ調査や生活実態調査では、西東京市子ども条例のことを質問してほしいと伝えたが、ヒアリング調査の支援者の方には子どもの参加や意見表明やほっとルームのことを知っていてほしいので、聞いていただきたい。

○小野委員：

ほっとルームの認知度については、加えた方が良くと思う。

○井上委員：

子ども食堂に、ほっとルームの名刺サイズの案内を自由に持ち帰れるように置いてあった。アンケートにほっとルームを知っているかを追加すると良いと思う。また、アンケートを行う際に案内を同封しても良いのではないか。

○酒見委員：

子育て支援をしている方は、一覧に載っていないが、青少年育成会、適応指導教室、スクールソーシャルワーカーなどもいる。公営や民営とさまざまな形態もある。ヒアリング対象にする基準はあるのか。

○小野委員：

前回調査の対象者を基に、今回追加した方が良い団体等を議論した。

○事務局：

ヒアリング調査では、市民目線でのご意見を伺いたいと考えている。

○井上委員：

育成会は1校に1つあると思う。

○菅野委員：

学校によって育成会があいさつ運動をしたりしているなど活動に格差があると思う。

○酒見委員：

育成会の方は、子どもの意見を取り入れながら、子どもと一緒にあげている。育成会を追加しても良いのではないか。

○菅野委員：

社会教育関係も関わっている方が多いと思う。育成会も対象となると、地域コーディネーターもという事になる。

○森田会長：

様々のご意見があったが、多様な地域の人々の意見をどのように入れていくかが調査のポイントとなる。子ども若者調査との兼ね合いもある。部会で今一度確認いただき、報告いただきたい。

また、ヒアリング調査には委員の方に加わっていただき、当事者性を担保できるようにしたい。

訪問先の日程と訪問する委員を事務局が整理し、調査を進められるよう、計画専門部会で議論いただきたい。最終版を確認後、委員の皆様に提供する。

スケジュールでは、11月末頃までに最終的なヒアリング対象者や質問項目を確定させる必要があるか。

○事務局：

その通りである。計画専門部会を開催し、再度議論する。

○辻委員：

放課後カフェに関しては中学生がターゲットになっていると思うが、田無第一中学校は年3回、学年別で1時間半程度実施している状況であり、支援者の方々と中学生の関わりは薄いのでアプローチが難しいと思う。支援者の方には、民生委員や育成会の方もいるので、ほかの活動を通じた中学生の様子に関して、情報を持っているかもしれない。

○島崎委員：

当初は田無第一中学校のみ対象としていたが、柳沢中学校の放課後カフェは月2回実施し、内容も充実していることから対象に追加していただいた。

○森田会長：

ほかに、中学校で放課後カフェを実施しているのはどこか。

○菅野委員：

一時は全ての中学校で実施していたが、頻度は学校によっても異なり、新型コロナウイルス感染症の影響でなかなか再開できていないのではないかと思う。

○森田会長：

どのように地域支援が出来上がっていくかについて、ヒアリング調査を通じて議論できると良い。特に今回の調査はコロナ禍を経たということを踏まえて、実施いただきたい。この点についても専門部会で議論いただき、最終決定としたい。

(2) 西東京市子育て・子育てワイワイプラン 令和4年度実績について

①子育て・子育てワイワイプラン基本方針に基づく施策・事業の実績
事務局から資料5に沿って説明

②【子ども・子育て支援事業計画】教育・保育の量・質の実績
事務局から資料6に沿って説明

③【子ども・子育て支援事業計画】地域子ども・子育て支援事業の実績
事務局から資料7に沿って説明

○森田会長：
この場で共有したい意見や質問はあるか。質問があれば10月31日まで事務局へ連絡いただきたい。

○委員：
特になし

(3) 保育料・育成料の見直しについて
事務局から資料8に沿って説明

○森田会長：
保育料・育成料をなぜ据え置くのかを利用者以外の方に説明する必要と今年は据え置きとして来年すぐ引き上げるといふ展開にならないように、長期的な見通しを立てる必要がある。

市行政が永続的に子どもたちの保育サービスを提供するために、西東京市では他サービスの利用料と同様に徴収基準が決まっているのでそのルールを参考にし、また国や東京都の補助などと併せて現状を整理した。今の段階では基本的には据え置くということを考える。次年度には協議をする必要がある。今年国や都から補助金がどの程度入ってくるかわからないため、今後財政的な面も含め、今後も検討していきたい。

「据え置き」について文章で西東京市長へ答申が必要になるので、この文案で問題ないとなればその形で答申を作成する。

○各委委員：
意義なし

○森田会長：
それでは、この文案で市長への答申を作成する。

○事務局
次回の審議会は、改めてご連絡する。

○森田会長
これにて、令和5年度第3回子ども子育て審議会を閉会する。

以上